



第40号
発行日
令和5年3月17日(金)
発行人
八王子実践中学校
中学部長 石川敦史

ご卒業おめでとうございます

令和5年3月14日

晴天のもと、令和4年度の卒業式が本校多目的ホールで行われました。三年前はコロナ禍でHR教室で入学式を行った学年でした。

さまざまな行事に制限をかけるを得ない状況が続いてきましたが、最後の卒業式は明るい未来を予見しながら行えました。



卒業証書授与

卒業生の入場後、卒業証書の授与がおこなわれました。担任から一人ずつ呼名され、校長先生から授与されます。



学校長式辞

「これから、幾多の苦難に遭遇するでしょう。しかし、克服できない試練は与えられないということを忘れないで、事にあたりなさい」という励ましの言葉をいただきました。

送別会

2年生の生徒会長さんが3年生との思い出を語ってくれました。「一番最初の合学年での校外学習、コロナ禍の中、何とか実施



した明鏡祭、先輩方とお別れするのが寂しく、心細くてなりません。

しかし、先輩方が残してくれた数々の伝統を私たち後輩はきちんと受け継ぎ、なお一層進んだ八王子実践中学校を作り上げていく覚悟です。」という言葉を残してくれました。

答言

後輩たちの言葉を受け、卒業生は一人ずつ思い出やこれから抱負を語りました。



「コロナ禍で数々の行動制限を受けながらも、この19名のメンバーで知恵を出し合って進んできました。オンラインでHRをしたこと思い出します。iPadの画面を通して仲良くなりました。そして、始まった分散登校。クラスの半数しか集合できなかつたけれど、実際に面と向かって話せることがうれしくなりませんでした。

学校行事等で思い通りにいかなかったことも多かったですが、仲間と協力することで友情を深

め、絆を育んでいったのです。八王子実践中学校で学んだことを活かし、よりよい自分を目指して進んでいきます。」と締めくくりました。

最後のHR

卒業生から、クラスメートと保護者へのメッセージを発表してくれました。「この3年間悩んだりしたとき、一番近くで支えてくれたのがママです。私のことを最優先で考えててくれて本当にありがとうございます。」という涙のメッセージに、もらい泣きしていました。

